

無料で使える GIS と GIS リカレント講座の紹介

Introduction of GIS usable free and the recurrent course on GIS

川瀬 正樹 (広島修道大学)

KAWASE Masaki (Hiroshima Shudo University)

kawase@shudo-u.ac.jp

1. 目的と背景

2022年度から始まった学習指導要領により、高等学校で「地理総合」が必修科目となり、すべての高校生が GIS について授業で学ぶことになった。そのため、少なくとも「GIS とは何か」を理解した人材が今後、労働市場に大量に供給されていくことになる。

一方で、地方自治体では GIS 技術者の不足が GIS の普及の足かせとなっている。ArcGIS のような高度な GIS は素人には難しすぎ、高価でもあるため、そのレベルの GIS を地方自治体に導入したとしても、それを使いこなせる人材が確保できなければ宝の持ち腐れで終わってしまう。したがって、まずは地方自治体の職員の中で GIS の利用者、理解者を増やしていく必要がある。最近増えてきた、無料で使える Web GIS やフリー GIS ソフトウェアには当然ながら機能上の限界があるが、使いやすさ、取っ付きやすさもある。「GIS とはどんなものか」を知るために、まずは無料で試用したい方も多だろう。

そこで本報告は、無料で使える Web GIS やフリー GIS ソフトウェアを紹介し、それらの使用方法を説明することで GIS を身近に感じてもらうとともに、広島修道大学で 2024 年後期から実施する、GIS の入門と基礎を学ぶリカレント講座を紹介することで、地方行政における GIS 普及の一助となることを目的とする。

2. 方法

まず、Web GIS サイトの例を複数紹介する。次に、フリー GIS ソフトウェアである「QGIS」を用いてデータを読み込み、防災関係のデータや人口データ等を地図化する方法を説明する。まず、総務省統計局の「統計地理情報システム」や国土交通省の「国土数値情報」の Web サイトから、地図データと統計データのダウンロード方法を説明する。次に、地図データと統計データを QGIS で読み込み、地図を作成する方法を説明する。なお、QGIS の入門教科書として、金(2020)を紹介しておく。

ただし、今回のチュートリアルセミナーを聞いただけで、独学で QGIS を学ぶことは難しい。そこで、広島修道大学で 2024 年後期から報告者が担当してオンラインで実施する「GIS リカレント講座」について説明する。これは、地方自治体関係者や高等学校「地理総合」担当教員の GIS 初心者を想定している

(参考文献)

金 徳謙 (2020) 『これで使える QGIS 入門 地図の入手から編集・印刷まで』, ナカニシヤ出版.